様式2

公共事業環境配慮書

建設部　砂防課

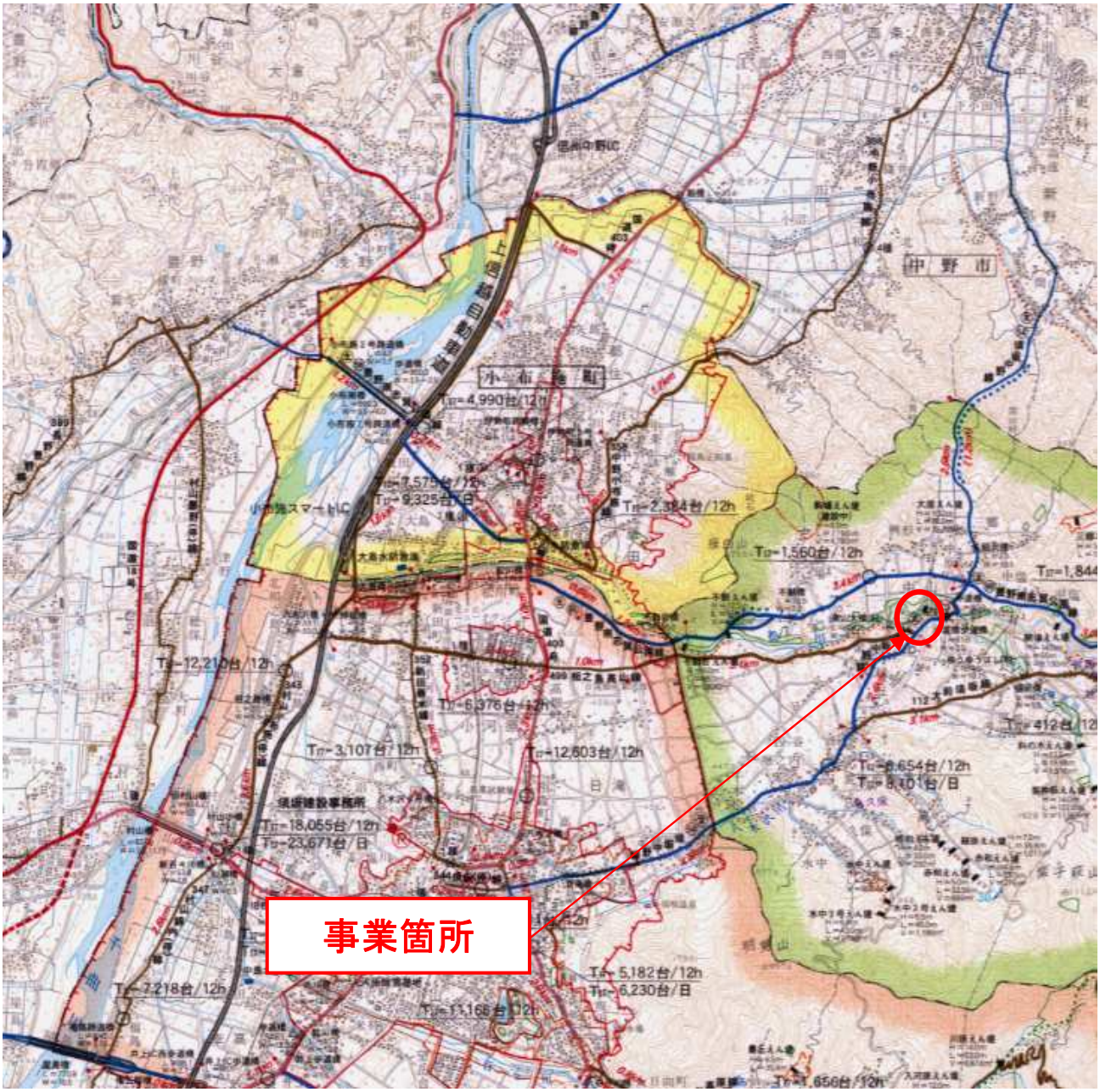
事業名称			
	事業名	国補砂防メンテナンス(砂)事業	
	整理番号	R8-5	
	事業の種類	砂防堰堤の建設	
	市町村名	上高井郡高山村	
	箇所名	大崖	
	事業年度	令和4年度～令和12年度	
事業概要			
	目　　的	松川は、高山村北部に位置し、白根山を源流とする砂防指定地である。大崖砂防ダムは昭和36年に完成した重力式練石積み堰堤で、渓床勾配1/16の土石流区間に設置され、供用開始から約58年が経過している。本堤の流水部では欠損部等が認められ、今後、堰堤機能を発揮できなくなる可能性がある。さらに、現行基準に定められた形状に適合していないため、施設の機能および現行基準に整合するよう改築する。	
	計画概要(延長・幅員・面積・工種など)	砂防堰堤修繕工(新堰堤) H=9.0m L=98.0m V=5,380m3	
	関連する事業計画	なし	
	その他特記事項	なし	
関係法令等の規制			
	自然環境保全地域等の指定状況	なし	
	土地利用規制の状況	砂防法の砂防指定地	河川法の河川区域または河川保全区域
		森林法の保安林等	
	そ の 他	なし	
社会的要素		留意すべき地域の概況	
	交通の現況	事業区域の東側に主要地方道須坂中野線が位置する	
	土地利用の現況	一級河川松川の河川区域である	
	生活関連施設の現況	周辺に住居はない	
	その他	特になし	
自然的環境要素		環境配慮の方針	
	大気環境	留意すべき地域の概況	生活関連施設がある
		【大気汚染の防止】	
		・資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行はできる限り避ける。	
		・交通流の円滑化により、大気汚染、騒音、振動の発生を防止する。	
		・土砂表層や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い、粉じんの飛散を防止する。	
		・排出ガス対策型の車両や機械を使用する。	
		【騒音、振動の防止】	
		・低騒音・低振動型の建設機械を使用する。	
		【悪臭の防止】	
		・悪臭原因物質を使用しない又は使用量を削減する。	
	水環境	留意すべき地域の概況	河川・湖沼がある 水道原水の取水地点がある
		【水質汚濁の防止】	
		・チェーンソーを使用する際は、生分解性チェーンオイルを使用する。	
		・水道水源、貴重な動植物分布地、取水地点、すでに汚染が著しい地域等への排水をできる限り避ける。	
		・工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。	
		【水循環の保全】	
		・河川において、下流域の環境の保全のため、正常な流量を確保する。	
	地形・地質	留意すべき地域の概況	山地である
		【環境の保全上重要な地形・地質の改変の回避】	
		・想定される影響はない。	
		【改変面積の最小化】	
		・工事施工ヤードの設置は、必要最小限の面積とする。	

	野生動植物	留意すべき地域の概況	希少猛禽類の生息・生育地周辺である
		【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】	
		・自然度の高い区域や希少な動植物の生息・生育地等、自然環境の保全上重要な地域の改変をできる限り避ける。	
		【野生動植物の生息・生育空間の保全】	
		・工事着手前にイヌワシ等猛禽類の生息状況を把握し、生息が確認された場合には定点観測調査を行い、必要な保全対策を検討する。	
		・希少性の高い動植物については回避措置を基本とするが、やむを得ない場合は、個体群の維持が可能な生息適地へ移動させる又は生息環境を創出し移動を促す。	
		【動物の繁殖期における影響の低減】	
		・事業箇所に近接して猛禽類の繁殖が確認された場合、繁殖期、産卵期の工事をできる限り避ける。	
		【地域独自の生物多様性の保全】	
		・工事により裸地化する箇所は、早期の緑化を行い、外来植物の侵入・定着・拡大の防止に努める。	
		【動植物への負担の少ない形状・素材の使用】	
		・自然石、自然素材、多自然型製品等動植物への負荷の少ない素材を使用する。	
	景観	留意すべき地域の概況	山地景観を形成している
		【すぐれた景観の保全】	
		・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	
		【良好な景観の育成】	
		・想定される影響はない。	
	自然とのふれあい	留意すべき地域の概況	特になし
		【自然とのふれあいの場への立地の回避】	
		・想定される影響はない。	
		【自然とのふれあい空間の創出】	
		・想定される影響はない。	
	文化財等	留意すべき地域の概況	特になし
		【文化財等への配慮】	
		・想定される影響はない。	
	廃棄物・ 建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
		・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	
		・工事に伴い発生する建設副産物の発生抑制と有効利用に努める。	
		・建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。	
		【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
		・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	
		【資源の有効利用】	
		・使用基準等に留意の上、再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用を推進する。	
	省資源・ 省エネルギー・ 温室効果ガス	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
		・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。	
		・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	
		【エネルギーの有効利用】	
		・施設の建設に当たっては温室効果ガス削減に努めた計画とする。	
		・LED照明、節水機器等の省エネルギー設備の導入に努める。	
	日照阻害・ 電波障害・ 光害	【日照阻害への配慮】	
		・想定される影響はない。	
		【電波障害への配慮】	
		・想定される影響はない。	
		【光害への配慮】	
		・想定される影響はない。	

番号	項目	環境部長の意見内容	事業部局の見解
1	野生動植物	近隣にイヌワシ等の猛禽類が生息している可能性があるため、工事の実施に当たっては、通常の希少野生動植物への配慮に加え、事前に生息状況を把握し、生息が確認された場合は、その保全に支障が生じないよう特段の配慮を行ってください。	工事着手前にイヌワシ等の猛禽類の生息状況調査を実施し、必要が認められる場合には保全対策を検討の上、影響の軽減に努めます。
2	廃棄物・建設残土	建設副産物の発生抑制と有効利用に努めてください。	工事の実施に当たっては、建設副産物の発生抑制に配慮するとともに、発生した建設副産物については、関係法令等を踏まえ、再資源化等による有効利用の推進に努めます。

（砂）松川　上高井郡高山村　大崖

位　置　図



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。（承認番号　R6KTf10）」